

町旅館民宿組合と災害時等における 宿泊施設の提供等について災害協定を締結

町では、高齢者等を対象とし、町が開設する避難所における感染症対策を図るとともに、多様な避難場所の確保を目的に、御代田町旅館民宿組合と「災害時等における宿泊施設の提供等に関する協定」を7月29日に締結しました。

この協定は、必要に応じて、町から町旅館民宿組合へ要請した場合、可能な範囲で、町旅館民宿組合の施設の提供等（宿泊、入浴、食事の提供）をいただくものです。

協定締結に当たり

町旅館民宿組合から 組合長 猿田信一氏【明治屋旅館】

町長から

「事前の取り決めがないと、スムーズに動くことができない。町とこういった協定を締結できたことは大変有意義」

「協定を締結することで、町と町旅館民宿組合それぞれの役割分担が明確となり、多様な避難場所の確保ため極めて重要」



【町旅館民宿組合に加入している宿泊施設の皆さま】
朝倉ペンション、貸別荘ニュー吉田、軽井沢森のいえ晴れたらいいね、大浅間ゴルフクラブ、天狗の茶屋、ビジネスホテルみよた、ペンション マ・メゾン、民宿かじか、民宿高原、民宿こうづ（神津弓道場）、明治屋旅館
(五十音順)

9月1日は「防災の日」

災害時に命を守る一人ひとりの防災対策

土砂災害、風水害、地震などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日ごろから防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。防災対策で大切なことは、自分の身を守るために一人ひとりが取り組む「自助」。そのポイントを紹介します。

問い合わせ先 総務課情報防災係 (32) 3111

防災対策で重要な「自助」とは？

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「互助」、国や自治体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。

その中でも、基本となるのは「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。

電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まっても、自力で生活ができるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。

いつもの食品でもしもの備えに！

大きな災害が起きると、物流機能が止まり、スーパーやコンビニでも食品が手に入りにくくなります。

このため、最低でも3日分できれば1週間分くらいの食品を家庭で備蓄しておくことが重要です。万が一、日常生活とかけ離れた事態が起こつ

たととしても、いつも変わらない、温かく栄養バランスのとれた食事があれば、心と体が満たされ、前向きな思考と元気に活動するためのエネルギーが湧いてきます。



何を備蓄すればいいの？

必需品は、水とカセットコンロ、カセットボンベ。缶詰やレトルト食品、カップ麺、乾物など保存しやすい食品を備蓄しましょう。

東日本大震災では、鶏卵、牛乳、小麦を除去したアレルギー対応食品を1カ月以上入手できなかった方がいます。乳幼児や高齢者、持病・アレルギーのある方は、それぞれの人に向けた食品を最低2週間分備蓄することが重要です。

危険を感じたときは自らの意思で避難行動を！

広報やまゆり7月号でもお知らせしましたが、町が開設した避難場所へ行くことだけが避難行動ではありません。複数の避難方法について事前に理解し、普段からどのように行動するか決めておきましょう。

避難場所と4つの行動

町が指定した避難場所への立退き避難

- 自ら携行するもの
- ▶マスク
 - ▶消毒液
 - ▶体温計
 - ▶スリッパ など



普段からどう行動するか決めておきましょう

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。



通常の宿泊料が必要。事前に予約・確認しましょう。

安全なホテル・旅館への立退き避難

自宅にいても大丈夫か、ハザードマップを確認しておきましょう。



屋内安全確保

さらに便利に！

停電情報お知らせサービス

無料アプリ

中部電力パワーグリッド株式会社では、地域を登録するだけで停電情報をプッシュ通知で受け取ることができるアプリを運用しています。避難場所やそのルート、土砂災害警戒区域等がわかる防災マップもアプリ内から確認することができますので、ぜひご利用ください。

【アプリのポイント】

- 登録地域の停電情報をプッシュ通知でお知らせ！
- 停電地域を地図で表示
- 緊急時に避難施設の検索やルート検索ができる「防災マップ」を搭載
- お住まいの地域の「ハザードマップ」を追加！



App Store
二次元コード



Google Play
二次元コード



問い合わせ先 中部電力パワーグリッド 0120(985)232